

## むすび

この報告書では、まず、高齢者の孤立化が進展している状況が明らかとなる基礎的なデータを示すとともに、孤立死防止に向けた課題を整理している。

また、高齢者の複合的・重層的な見守りを行う仕組みづくりとして、平成22年度から実施してきたモデル事業の結果を取りまとめた。

この結果からは、モデル事業の構想段階で想定していたよりも、こうした仕組みづくりを進めることに対する町内会等の地域住民組織や事業者などの理解と協力がスムーズに得られ、改めてこの問題に対する関心の高さを確認することができたとともに、今後見守りの目を一層拡充していくためには、民間事業者との連携が重要であるとの結論を得たところである。

しかしながら、今回のモデル事業では対象地域が小範囲に限られていたこともあり、実際の事例を得ることができず、十分な検証が行えなかったところである。このため、今後は、対象地域の拡大を検討する必要がある。

また、最近の孤立死を取り巻く情勢の変化などから、障がい者や生活困窮者など高齢者を対象とした見守り・安否確認の取組に留まらない対応を求められることとなった。

このため、こうした問題にも今後、的確に対応していくためには、まずは異変等を発見した場合の連絡先を一元化するとともに、そこを拠点に関係機関等との連絡・調整を効果的・効率的に行う体制がしっかりと整備されていなければならないものと考えられる。

このため、まずは連絡先の受け皿体制の整備を優先的に進め、その後、今回のモデル事業で得られた成果をもとに、改めて民間事業者等と連携した地域の見守りネットワークづくりを行い、その状況を見極めながら、他の地域にも順次広げていくことを目指したい。

発行年月 平成 25 年 1 月

発行元 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

TEL (011) 211 - 2976

問合せ先 特定非営利活動法人シーズネット

札幌市北区北 10 条西 4 丁目 1 番地 SC ビル 2 F

TEL (011) 717 - 6001



さっぽろ市  
01-E03-12-1422  
24-1-62